

Q 圏央道の開通、国道354号線バイパス予定もあり、ふれあいの里近傍に第2の道をつくる考えは。

A 現在の道の駅を中心に河岸の町としての観光開発に取り組んでいる。354バイパス付近は、防災拠点とか町民のコミュニティの場などの別な取り組みを検討したい。

(町長)

Q 外国産のB級品の野菜を生産者が出品時に何故、競合して販売するのか。

A 目玉商品として地域の会社から提供を受け販売しているが、生産者とバッティングしないように注意をする。売り上げ至上主義ではない。

(町長)

Q 地域連携機能としての高瀬舟、サイクリング自転車、セグウェイ、バーベキューハウスの利用状況は。

A 始まったばかりの事業もあるが、高瀬舟162名、自転車11名、セグウェイ54名、バーベキューハ

ウス239名の方にそれぞれ利用していただいた。老若男女、家族連れ等みんなが楽しめる事業も検討したい。

(副町長)

議席13番

木村 信一 議員



○太陽光発電事業について

Q 茨城さかいソーラー株式会社について。

A 昨年8月に町が100パーセント出資の「茨城さかいソーラー株式会社」を設立しました。総事業費は出資金5千万円(ウエルシア創業家鈴木様からの寄付金)借入金4億7,400万円合計5億2,400万円です。設置箇所は町内34箇所であり、平

成28年3月にすべて完成予定です。今後は事業が完了時に計画書を策定し町民の方にご報告いたします。

(町長)

○職員の管理について

Q 現在の職員数及び非常勤職員数は何名か。

A 平成27年4月1日付職員数は218名です。非常勤職員122名です。

(副町長)

Q 職員数の削減により町民に対してのサービス低下にならないか。

A 本年の3月の退職者が多く見込まれたことから、二次募集を実施し、7名を採用しました。現在は元職員の方のお力をお借りしているのですが、サービスの低下にはならない。今、町が抱える大きな課題の一つは、職員を育てるといったことです。今後は職場環境が整うにつれ職員自らが提案し実施していく事業が増えていくと確信しています。

(町長)

○環境問題について

Q 町内3か所(森戸小学校付近、新古河変電所南側、栗山地区)に積まれた建設残土について。

A 建設残土については、「境町土砂等による盛土、及び堆積の規制に関する条例」に抵触するおそれがあるため防災安全課、県廃棄物対策課、県西県民センター及び警察署の協力を得ながら指導してまいりましたが、現在に至っていないのが現状であります。今後も地元の方を始め関係機関と連携を密にしながら対応して行きたいと考えています。

(総務部長)

Q 大型車両による町道破損について。

A 現在の対応状況は安全な通行を確保するため早急な復旧が必要な箇所は町が補修をおこなっているところです。町としても残土搬入業者に再三にわたり道路の補修を要請しているところであります。

(建設農政部長)